

リトル・ストーリー
シエイモ ③



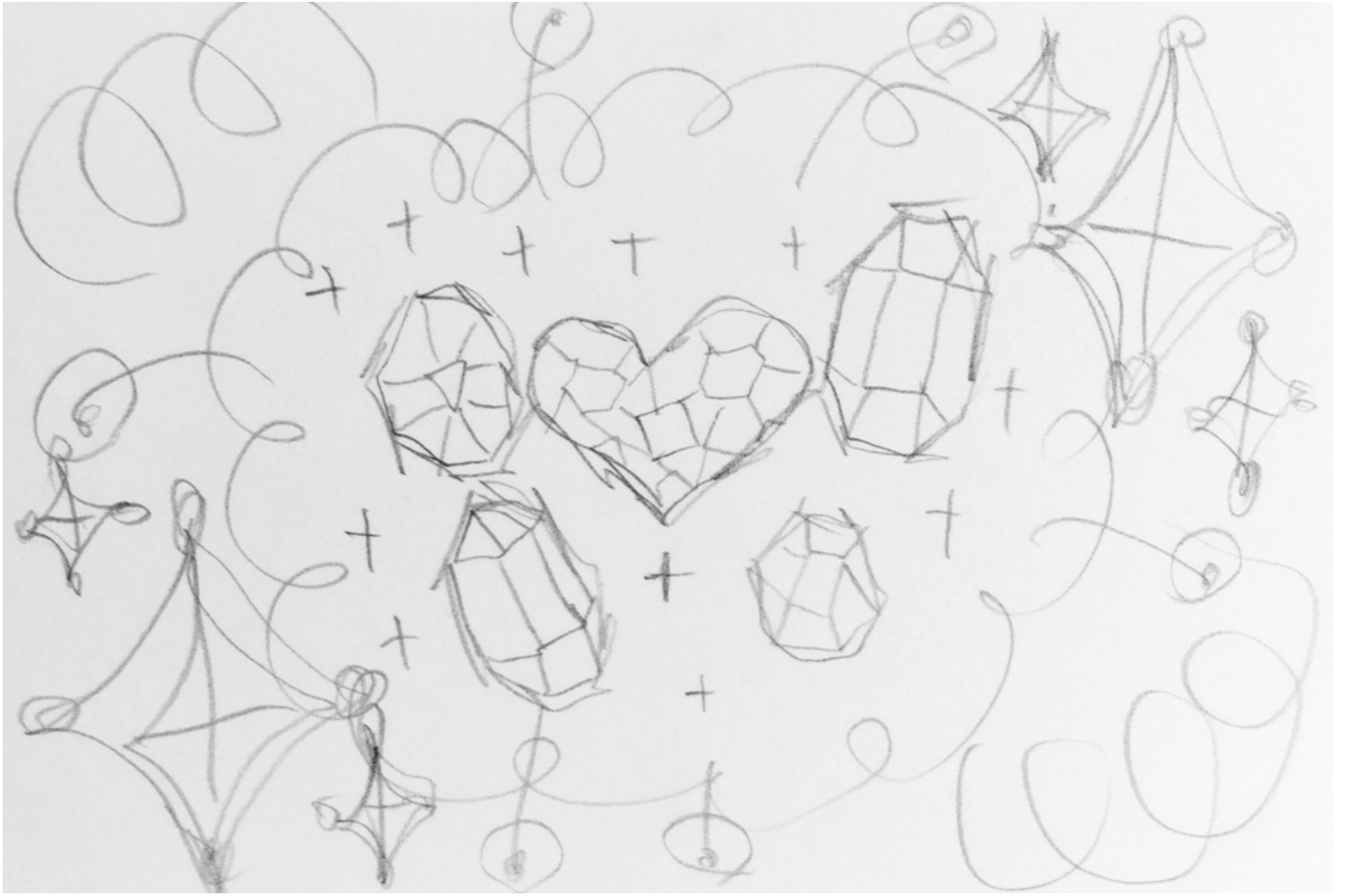


ブーン ブーン ブーン。

蜂たちは花から花へ蜜をあつめるために飛びまわっていました。

蜂たちは世界で一番美しくて愛おしいものは花だと思っていました。

でもある時見つけてしまったのです、、、



森の奥にあるお城の片隅に今まで見たこともないぐらい

まばゆく光り輝く宝石の綺麗なこと。

きっとお城のお姫様が入らなくなって捨てたのねと

蜂たちは思いました。

そして蜂たちは花には目もくれず

こんな素敵な宝石から蜜がとれたらどんなに素敵だろうと思いました。

そんなことを考えていると、、、



— 蜂さんの願いを叶えてあげましょう

ほらこうすれば蜜が湧き出てきますよ、、、 —

そこには優しそうな男の子が

手に花の形に並べた宝石を持って微笑んでいました。

蜂は恥ずかしそうに男の子に近づき

宝石にキスをするように蜜を吸い取りました。

蜂が蜜を吸い終わって飛び立つと男の子は森の中に静かに消えました。

蜂は無い物ねだりな自分を恥じて

あの男の子に蜜を舐めさせてあげたいと思ったのです。